



2020.12.13

ニリンソウ自生地保護 活動情報

akatsukanironso@gmail.com
発行：都立赤塚公園サービス
センター ボランティア係
03-3938-5715
編集責任：運営サポーター：



<2021 年 1 月の活動日程>

- ・ 2021/1/10 八丁目の林の手入れ
(赤塚城址ため池公園の梅林下集合)
 - ・ 2021/1/17 (1/10 が作業終了しない場合の予備日)
- * いずれも日曜日、10:00、* 雨天は中止です。
- ・ 1～2 月には大門ニリンソウ自生地のヤエムグラの抜き取りを実施します



陽光がまぶしく小春日和の暖かさ。12月13日、都立赤塚公園の北側・高島平団地の中を抜けていくと、フェンスの向こうには秋の花キバナコスモスがまだ咲き残る一方では、春の代表的な植物ホトケノザが早くも愛らしい花を咲かせていました。



たくさんの参加者と 来園のみなさまの励ましがあって 今年のニリンソウ自生地の手入れ作業は 予定通り終了しました

12/13は、この秋シーズン5回目の手入れ作業でした。10月から始まった作業は、最初の2回は雨天で作業できず、果たしてどうなるものかと気をもんだのですが、旧「区の花ニリンソウを保存する会」のみなさんが引き続き参加してくださったのに加えて、大門に貼りだした看板を見て参加してくれた人、「ニリンソウの森を守る担い手づくり講座」を受けて参加してくれた人、植物観察・記録活動（モニタリング）に参加なさっているみなさんも応援に駆けつけてくれて今日も20名参加。作業は予定通り進行し、今年はこれで打ち上げとなりました。

たくさんのみなさんが集まって気持ちよく作業が出来たのは、直接作業に参加していただいたボランティアのみなさんの力ばかりではありません。日ごろ、公園の自然を愛してくれていて、時にはボランティアに「ごくろうさま」と声をかけてくれるたくさんの来園者の見守りが励ましになっているのです。

これからも、ご支援、よろしくお願いいたします



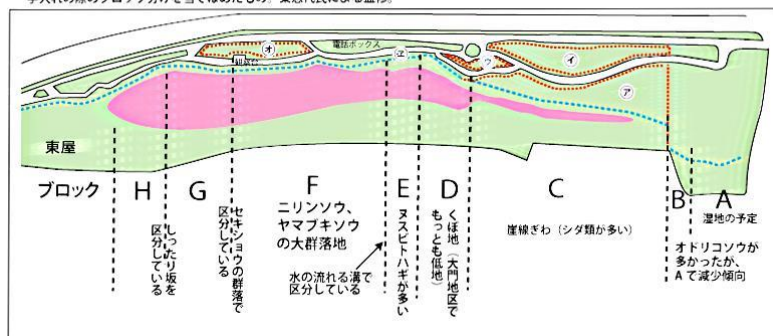
手入れ作業終了！参加者のなかから「一本締めで締めくくりましょう」と提案があり、「いえ～っ！」の発声で、今年の作業をケガもなくトラブルもなく終了しました。「ヨッ！」



草刈いの「使用前」と「使用後」

都立赤塚公園大門地区手入れマップ 2020.11.24 改定

・2020.8 生物多様性保護エリアを含めてサービスセンターが引き直したマップに、2014年発行「残そう！崖線の自然」に記録されている手入れのブロック分けを当てはめたもの。榮志代氏による監修。



12/13 は上の手入れマップの G ブロックの残り と作業済みの D、E、F ブロックで刈り残したところの仕上げ作業でした。

作業の重要ポイントは希少植物で保全すべきものは刈り取らずに、春のニリンソウの葉が伸びだす頃に蔭をつくってしまっていて生育を妨げる植物を刈り取るようにしています。左上の写真の奥の方の黄緑色はこの場所では刈り取り対象となっているコクサギで、それを刈り取った痕が手前の落ち葉が見える部分です。右の写真の手前は作業済みの部分、林の崖斜面の縁（ふち）で作業している人は刈り残したものをきれいにしているところです。

今年の手入れ作業は赤塚公園サービスセンタースタッフによる機械刈りの導入もあって、作業が効率的に進みましたが、**やっぱり手作業で行うのがいちばん**というものもあります。12/13 の作業は地面にびっしりと広がったアケビとキズタに苦労しました。手で根ごと丁寧に取り除く必要があるからです。

各所で早くも茎をのばしているヤエムグラ。これは年が明けて 1 月か 2 月に抜き取り作業です。



↑ キズタ



↑ アケビ



みなさん、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと
よい年末・年始をお過ごしください

